

台風や集中豪雨に 備えましょう

これから台風シーズンを迎えます。近年は台風だけでなく、「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」の発生により、短時間で非常に激しい雨が降ることが増えています。1時間に100mmを超えるような大雨となる場合もあり、河川の氾濫や浸水被害、土砂災害などへの警戒が必要です。

大雨は天気予報などにより、ある程度予測することができます。日頃から備えを進め、早めの避難行動を心掛けることで、被害を最小限に抑えることができます。

いざという時に慌てないよう、普段から備えておきましょう。



命を守る 3つのポイント

01 災害リスクを知り、避難行動を決めておく！

「愛荘町防災ガイドブック」を活用し、自宅や勤務先周辺にどのような災害の危険があるか確認しましょう。特に、自宅が最大で何メートル浸水する可能性があるのかを把握し、災害時には「どのルートを通して」「どこへ避難するのか」を事前に決めておくことが大切です。家族で避難場所や連絡方法について話し合い、いざという時にすぐ行動できるよう備えておきましょう。



避難の種類

避難先は、指定緊急避難場所（小学校など）だけではありません。自宅が安全な場合は「在宅避難」、親戚や知人宅・ホテルなどへの「立退き避難」も有効な避難方法です。災害リスクを確認し、自身の状況に応じた避難先をあらかじめ決めておきましょう。



▲防災ガイドブック
はこちらから

02 浸水が始まる前に避難する！

町から避難情報が発令された際は、危険な状況になる前に早めの避難を心掛けてください。特に在宅避難が難しい場合は、周囲の安全を確認したうえで速やかに避難を開始しましょう。



03 安全に避難する方法を知っておく！

浸水した道路では、水深がひざ程度になると歩行が困難になり、避難が難しくなります。また、くるぶし程度の深さでも流れが速い場合は転倒する危険があります。浸水が始まっている場合は、無理に避難場所へ向かおうとせず、近くの丈夫な建物や高い場所へ避難することを優先してください。やむを得ず浸水した場所を移動する場合は、次の点に注意しましょう。

- ☑ 肌の露出が少ない服を着用する
- ☑ 滑りにくい靴を履く（長靴は水が入ると動きにくく危険です）
- ☑ 傘や杖などで足元を確認しながら進む（水路や段差等が見えないため注意が必要です）

無理な行動は避け、自分の命を守る行動を最優先にしてください。

避難情報の入手方法を確認しましょう

大雨や台風などにより災害が発生するおそれが高まった場合や、災害が発生した場合には、町から「緊急安全確保」「避難指示」「高齢者等避難」などの避難情報を発表します。

避難情報は次の方法でお知らせしますので、日頃から情報の入手方法を確認し、いざというときに迅速な避難行動がとれるよう備えておきましょう。

- ・テレビのデータ放送
- ・町ホームページ
- ・町公式LINE
- ・防災行政無線
- ・広報車
- など



おすすめ

町公式LINEを活用しましょう！

町公式LINEでは、避難情報や防災情報をプッシュ通知でお届けしています。スマートフォンに直接通知が届くため、緊急時でも情報を見逃しにくく、迅速な避難行動につながります。まだ登録がお済みでない方は、この機会にぜひご登録ください。



▲町公式 LINE の
友だち追加は
こちらから